

interview

現場主体で口腔ケア改善を進める高寿園さん。取り組み 1 年で口腔ケア実施率 91.9%を達成しています。推進役として抜擢され、現場を牽引するキーマンのお二人に取材しました。

ゼロプロに約 1 年取り組んでみていかがですか？

竹久 これまでも歯磨き介助は行っていましたが、職員同士が口腔ケアをするセミナーや試験に、初めはみんな抵抗があったように思います。

北原 1 年経った今では、初級試験は入ったばかりの職員を除くほとんどの職員が受けられています。

竹久 私の担当しているユニットでも、先日、最後の一人が受験しました。

北原 これまでは口腔ケアについて学ぶ場がなく、きっちり教えてもらえたのが良かったです。取り組み当初は、セミナーで教わったことを見ながらやるという感じでしたが、今では何も見ずに口腔ケアの実施ができています。

竹久 勉強になりましたよね。スポンジブラシを濡らしたあと、絞って、さらにペーパーで水気を拭き取る等の細かい注意点は、ゼロプロに参加することで意識するようになりました。

介護職 北原さん

社会福祉法人津山福祉会
特別養護老人ホーム 高寿園さま

ゼロプロのコアスタッフとして意識していることは？

介護職 竹久さん



北原 職員みんなのやる気が出るような声掛けをすることですね。OHAT の数字が良くなっていることは皆さんの日々の口腔ケアの頑張りを読まれる根拠になるので、OHAT 結果は活用させてもらっています！

竹久 取り組み始めたときは各職員の自発性を尊重したいと思っていたため、そこまで試験を受けるための日程調整等に介入していませんでした。しかし口腔ケア委員会で「ユニット間の取り組みの差を減らして足並みを揃えよう」という共有があつてからは、担当ユニットの職員が全員初級の確認試験が受けられるように意識して携わるようになりました。

ました。

ゼロプロに参加することで目指す将来像を教えてください。

竹久 実際に介助をしていて肺炎のご利用者さんを目の当たりにすると、とても息苦しそうなので「誤嚥性肺炎を減らしたい」という想いはずっとありました。口腔ケアで誤嚥性肺炎をゼロにできるのであれば、今後も信じて頑張りたいです。

北原 早めにみんな中級までは合格して、そのスキルをもって口腔ケアを正しく楽なものにし、さらに利用者さんの笑顔につなげられるように、今後も取り組んでいければと考えています。

information

CCD 社内運動会 2026 を開催しました

10 月 24 日、社内運動会を開催しました。社員とその家族をあわせて合計 70 名ほどが参加。借り人競争、しっぽ取り、カローリング、リレーを競技とし、全 4 チームで勝負しました。普段事務所が離れていて接することがない社員との交流の場になりました。運動会ならではの協力プレーがあり、親睦を深める良い機会だったと思います！今後もチーム力をお仕事にも活かしていければと思いますので、よろしくお願いいたします。



編集後記

最後まで読んでくださり、ありがとうございます。今回の vol.32 では、岡山県のゼロプロ参加施設様へ取材させていただきました！やっと秋らしい気候になってまいりましたが、季節の変わり目、みなさまも体調を崩さぬようお過ごしください。

2026 年 10 月 川谷

＼check!!／

公式 LINE、instagram、YouTube
にて情報を発信しています。

SNS



株式会社 クロスケアデンタル

編集担当：川谷

お問合せ：092-986-9600

info@crosscare-dental.jp

